



森の楽校だより

VOL. 17

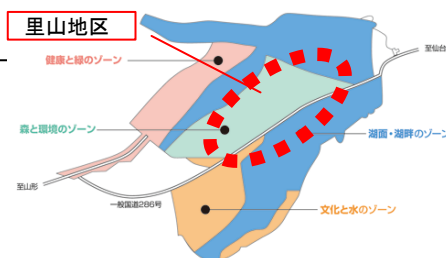


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成26年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、昨年度に引き続き、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

平成24年度は活動の拠点となるツリーハウスづくりを中心にベンチづくりなど活動の場を広げていきます。



11月24日（土）曇り ツリーハウスづくり、ベンチづくり

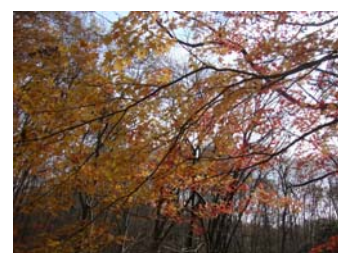
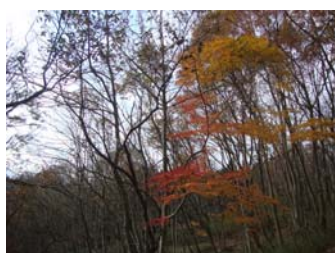
ツリーハウスづくり、ベンチづくりを進めています。

前回の活動から2週間、里山は一気に季節が進み、冬のような寒さの1日となりました。
今回活動は、ツリーハウスづくり、ベンチづくりを中心に行いました。



晩秋の里山

晩秋の里山は、紅葉の盛りも過ぎ、日毎に冬景色へと変化していきます。



ツリーハウスづくり

ツリーハウスは仮組み作業を行っています。前回の床部分に引き続き、柱を四隅に建て、水平、直角を確認しながらの作業です。



ベンチづくり

ベンチづくりは、座面の丸太にひび割れ防止の背割を入れた後、足を取り付け、カンナで仕上げていきます。



サードデッキづくり

ツリーハウスを載せるサードデッキづくりは、引き続き、土台、大引きの取付けを行っています。



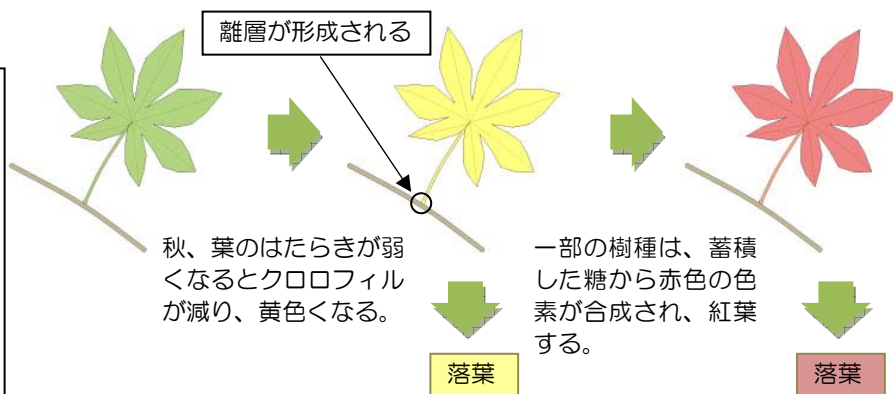
紅葉のしくみ

葉に含まれる色素には緑色のクロロフィル、黄色のカロチノイドがあります。前者の量が多いため、葉は緑色に見えます。

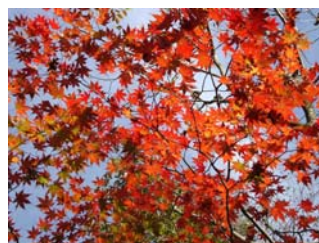
秋になり、気温の低下とともに、葉のはたらきが弱くなるとクロロフィルが分解され、それまでかくされていたカロチノイドの色が目立って、黄色になります。

一方、落葉樹は葉を落とす準備として、葉柄の付け根に離層という組織が作られます。これにより物質の行き来が妨げられ、合成された糖が葉に蓄積されます。樹種によって、この糖から赤色のアントシアニンという色素が新たに合成されるものがあり、そのような樹種は葉が赤くなります。

葉は、やがて離層で切り離され落葉します。



黄葉するカシカエデ



紅葉するイロハモミジ

黄葉するか、紅葉するかは樹種によって、アントシアニンを合成するか否かで決まります。また、アントシアニンの合成は、日照や温度変化に大きく影響されます。